

街の元気 ● みんなの元気を応援します

VIVA city

ビバ
*
シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報 104

VOL.
18

2017
December

サポート接骨石川(SSI)活動報告

第3回 金沢マラソン2017 ほか

新シリーズ・教えて先生!

ひとりで出来るテーピング

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city

ビバ
シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報104

VOL.
18

2017
December

C O N T E N T S

1 巻頭言

柔道整復師として正しい評価を頂くチャンス ニツ谷 剛彦

2 サポート接骨石川(SSJ)活動報告

①加賀温泉郷 寛平ナイトマラソン

②KOMATSU全日本鉄人レース

③野々市じよんからの里マラソン

番外編 事前研修会を重ねて準備万端!

④第3回 金沢マラソン2017

⑤石川県総合防災訓練

10 第41回 厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会

11 新シリーズ●教えて先生!

ひとりで出来るテーピング

12 支部だより

金沢北支部 / 金沢南支部

14 トピックス

15 新入会員紹介

巻頭言

かんとうげん

制度改革の真の意味を考える——

柔道整復師として 正しい評価を頂くチャンス

制度改革を信頼回復の始まりと捉える

ビバ・シティご愛読者のみなさまには、日頃より公益社団法人石川県柔道整復師会の活動にご理解ご協力を頂いておりますことに厚く感謝申し上げます。

平成29年度の本会行事も予定どおり執行され、今後さらに嶋谷清会長のもと執行部一丸となって、柔道整復師業界の発展のために邁進していきたいと思っております。

さて、平成29年10月より、厚生労働省から通達があった柔整業界の『制度改革』が始まっています。この改革の目的は、『公的審査会の権限強化』と『施術管理者の要件強化』によって柔整療養費の適正化を図ろうとするものです。しかしながら、日頃からまじめに業務に取り組み、適正な申請をおこなっている公益社団体会員にとっては、今までどおりの何の変化も生じないものであり、柔整業界全体を締め付けるものではないものと考えています。一昨年、反社会的勢力に柔整療養費が利用され保険不正請求事件が起こってしまったことは記憶に新しく、先輩方が長い年月をかけて築き上げた社会的信頼を失ったことは大変に残念ですが、この『制度改革』が国民の信頼回復の始まりになってくれればと願っています。

介護予防事業参入で地域を支えよう

一方では、柔道整復師を目指す学生の資質向上を視野に入れた『教育改革』も進められ、さらには卒後臨床研修を盛り込んだ制度の導入も決定しています。これらにより、医療人として



■ニツ谷 剛彦

(ふたつや たけひこ)
(公社)石川県柔道整復師会 副会長

【プロフィール】

平成17年より理事6期目。その間、事業部長・保険部長・金沢北支部長・健康やわら体操普及委員長等を歴任、北信越ブロック柔道監督としても活躍する。平成27年4月に副会長及び、日整代議員に就任。柔道6段。

の良識ある見識と確かな技術を兼ね備えた人材が育成されるものと確信しています。

ご承知のとおり我が国では高齢化が急速に進み、現在の社会保障制度を見直した「介護予防事業」が進められています。とりわけ「地域包括ケアシステム」は、高齢者が寝たきりにならず、自分で外出ができ、元気であり続けられるための仕組みであり、私たち柔道整復師が本来の特技である柔道整復術を機能訓練指導に活かし、これまで以上に地域に密着した役割を担うことが重要になると考えます。必ずやこのシステムに参画できるよう、執行部一丸となって医師会をはじめ医療関係団体や行政機関と協議を重ねています。

結びになりますが、県民のみなさま方が健康で安心して暮らせるよう、本会会員一同努力していく所存です。今一度読者のみなさまにおかれましては、これまで以上のご理解とご協力をお願いいたしまして私の挨拶とさせていただきます。

Support Sekkotsu
Ishikawa
SSI
サポート接骨
石川

● 特集 ●

サポート接骨石川(SS I)活動報告

ハツラツと健やかに 人生を楽しむお手伝い

サポート接骨石川(SS I)は、公益社団法人石川県柔道整復師会会員によるボランティア組織です。ここでは県内各地で開催されたスポーツイベントでのケア・サポートを中心に、さまざまな活動の一部をご紹介します。

サポート接骨石川(SS I)活動①

加賀温泉郷 寛平ナイトマラソン

平成 29 年 9 月 2 日 (土)、加賀市山中温泉において「加賀温泉郷 寛平ナイトマラソン 2017」が開催されました。公益社団法人石川県柔道整復師会では会場に特設ブースを設置し、この大会に参加した選手たちへのケア・サポート活動を行いました。

本大会は、山中温泉山中座広場を午後 4 時にスタートし、夕暮れから夜にかけての幻想的な雰囲気を味わいながら 32km のコースを走り抜けるのが特徴です。途中の沿道では地域の方はもちろんのこと、間寛平さんや村上ショージさん、中川家さんほか 9 組の芸人さんたちが応援で大会を盛り上げるという楽しい趣向も用意されていました。

公益社団法人石川県柔道整復師会では日本赤



寛平さんはじめ、豪華なメンバーが会場を盛り上げてくれる。

十字奉仕団・サポート接骨石川(SS I)として選手たちへのサポート活動を行い、ストレッチやテーピング、アイシング等を施しました。野外に設置された狭いテント内、電球の薄明かりの下でのケアであることに加え、雨天への対応も心配されましたが、幸い好天に恵まれ終了の午後 9 時までには、会員 20 名で 60 名の選手へのケアを行いました。選手の中には、福井から電車とバスを乗り継いで来た方も。近くなのに

コースは徐々に闇に包まれて…。アニメキャラクターのフリーザー様も参上！



日も傾きはじめて夕方 4 時に選手たちがスタート！





ヘッドランプを点けてゴール!

選手の状態・要望を確認しながらケア開始。



いつもとは違う、薄暗い電球の下でのサポートだ。

どうして車ではないのですか?と聞いたところ「走った後に思いっきり飲みたいからや!」と笑顔で話されていました。また、富山県から夫婦で出場して奥様に負けるという悔しい結果に

なった旦那様が、来年への雪辱を誓う姿も見られました。さすが間寛平さんプロデュース! 走るだけでなく会場の雰囲気まで含む大会丸ごとを、皆さんに楽しんで頂けたようです。本会としてもこの大会の安全な運営に、多少なりとも寄与できたことをうれしく思っています。



Support Sekkotsu Ishikawa
SSI
サポート接骨石川

サポート接骨石川(SSi)活動②

KOMATSU全日本鉄人レース

平成29年9月24日(日)、第36回KOMATSU全日本鉄人レースが開催されました。朝晩は涼しさを感じる日が続きましたが、当日は一転、汗ばむほどの秋晴れでした。小松ドームをスタート・ゴールとして木場潟周辺から小松路を行くコースに「鉄人」「ロング」「ショート」「チームリレー」の4つの部門に分かれて挑む565名の選手たち。号砲がとどろくと同時に、引き締まった表情で飛び出して行きました。

沿道には選手の家族、知人、小・中学生を含むエイドステーション要員やスタッフ、近隣の



鉄人の部を皮切りに選手たちがスタートしていく。



【レース概要】

鉄人の部 ● バイク40km
≫ 登山10km ≫ バイク20km ≫ ラン20km

ロング・チームリレーの部 ● 第1ラン6km ≫ バイク60km ≫ 第2ラン20km

ショートの部 ● 第1ラン6km ≫ バイク60km ≫ 第2ラン6km

住民たちが笑顔で手を振って大会を盛り上げていました。応援はなによりの起爆剤。この大会の「鉄人の部」ならではの厳しい登山(動山：標高604m)に立ち向かう選手たちを、大いに奮い立たせていました。

沿道からの応援は、過酷なレースに挑む選手にとって何よりの起爆剤だ。



■選手の半数以上がケアブースを利用

公益社団法人石川県柔道整復師会は、日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川(SSI)として小松ドーム内にケアブースを設置し、会員40名で参加選手のケア・サポートを行いました。午前5時からのレース前のケアでは、不安を抱える部位へのテーピングなどを、レース後は、筋緊張が強い部位へのストレッチ、必要とする部位へのアイシングなどを施し、疲弊しきった選手のケアを行いました。

過酷なレース故、クオリティの高いケアを求められることから、各会員が選手の状態をしっかり把握してからケアを施します。選手の方々からは、「レース前のテーピングのお陰で足の運びがスムーズだった」、「筋痙攣を起こしそうになった筋肉がケアで楽になった」など、多く

KATTの皆さんのお陰で受付もスムーズに。



の喜びの声を頂きました。

また、毎年お手伝い頂いている金沢大学アスレチックトレーナー部(KATT・17名)とその卒業生である理学療法士2名、北信越柔整専門学校から2名の協力もあり、スムーズな活動となったことに感謝いたします。

今回は、565名中300名と半数を超える選手にケアを施しました。参加会員一同、選手の皆さんがこれからも順調な競技活動が続いていくための一助になればと願っています。来年も小松ドームでの出会いを楽しみにしています。



ケアする会員もみんないい表情です！



加賀支部を中心に40名の会員が活動に参加した。



酷使して疲れ切った筋肉にストレッチやアイシングを施す。



野々市じょんからの里マラソン

平成29年10月15日(日)野々市じょんからの里マラソン大会が開催され、本会から日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川(SSSI)として20名の会員が参加選手のケア・サポートを行いました。

■ 走る楽しさを味わう大会だからこそ…

この大会の名称にもある「じょんから」という言葉は、「自安和楽(じあんわらく：自ら安んじて和やかに楽しむ)」の読み方が転じたとの説があります。この大会で走る距離が最短で1.2km、最長でも10kmという短いコースの設定は、その由来のとおり、幼児から幅広い年齢層が参加する「走ることを楽しみとする」大会であることを思わせます。その距離の短さから、フルマラソンを走りきったように疲弊した選手は少ないのですが、ベストとは言えないコンディションで走る選手にとって、コースの距離は関係ありません。

会場となった野々市市民体育館に設営された特別ブースでは、レース前とレース後に訪れた計76名の選手のケアに当たりました。選手の方々の訴えを聞き、最適と思われるテーピング・アイシング・ストレッチ等の処置を行いました。

サポート活動の際に行うストレッチなどの方法について研究論文には諸説あり、本会は学術



大会前日の準備の後も、施術上の注意事項等を再確認。



号砲とともに笑顔で飛び出していく中学生の皆さん。

団体としての「根拠のある適切な処置」を目指して、毎年何度も研修会を行っています。たとえばストレッチにかかる時間の長さについても運動の前後では違ってくるのですが、ケアの基準を高いレベルで揃えることが大切です。本会が行うサポート活動への参加を許されているのは、こういった事前研修会を受けた会員だけであり、選手の皆さんに安心して身体を任せて頂けるような環境作りを心がけています。

これからも、より質の高い技術を提供できるよう会員が一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

受付で選手の状況をしっかり把握してから、ケアブースへ。



番外編

サポート接骨石川(SSI)活動 事前研修会

事前研修会を重ねて準備万端！

本会学術部主催

KOMATSU全日本鉄人レース & 金沢マラソン事前研修会

日時■9月10日(日)午前10時～

会場■柔整会館3階研修室

参加者■本会会員及び金沢大学アスレチック トレーナー部(KATT) 40名

2部構成で実施。第1部のパネルディスカッションでは、各パネリストが経験してきた事案を紹介する中で筋痙攣や脱水、低体温症への対応について多くの意見が出され、全身状態の把握や水分補給、栄養指導に至るまでを注意深く行うことの重要性を再認識しました。またケアを受けるランナーの立場に立った意見等が述べられ、会場の会員からも、選手が期待するケア内容をまず把握すべきとの声がありました。



各大会の代表者、ランナー代表がパネリストになって討論を行った。

第2部は、学術部の磯松俊也会員によるストレッチの基本実技。パワーポイントで手技内容を確認した後、デモンストレーションを行い、次に受講者が2人1組になって手技を確認し合う方法で進められ、参加者は伸ばされる筋肉の感触や力の入れ具合などを確かめていました。

ストレッチの方法にはその目的により諸説があり、今回は手技内容の標準化を目指した講習プログラムでした。



2人1組になり手技を確認し合う。

石川県スポーツトレーナー協議会(IST)主催

① IST認定テーピング講習会

日時■7月22日(土)午後7時～

会場■木島病院(体育館2階会議室)

参加者■22名(内 本会会員7名)



講師の佐藤裕之会員。

この講習会は3つのコースに分かれており、当日はテーピングの基本を学ぶBASICコースを実施。本会の佐藤裕之会員を講師にテーピングの発祥や歴史、種類、基本的な巻き方等を学んだ後、参加者がお互いにテープを巻き合い、その巻き方や装着感を確かめていました。

② 金沢マラソン事前研修会

日時■10月17日(火)午後8時30分～

会場■木島病院(体育館2階会議室)

参加者■35名(内 本会会員8名)

今大会から25km、30km地点に救護所を設置しレース中のランナーにも対応することになりました。レース中・ゴール後のケアの注意点、昨年の反省の改善点、また、今年からはタブレットを使って外国人選手に対応することなどが説明されました。



説明を行う西川典孝会員。

- 本会では、今回の特集でご紹介した以外にも様々なイベントでケア・サポート活動を実施しており、そこに参加する会員は事前研修を受講しなければなりません。高い質のケアを選手の皆さんに提供するため、準備万端整えて大会に臨んでいます。

第3回 金沢マラソン2017

スタート

しいのき
迎賓館前



女優の田中美里さんらに見送られてスタート!

平成29年10月29日(日)、第3回金沢マラソンが開催されました。本会は日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川(SS I)として、石川県スポーツトレーナー連絡協議会(I S T)、金沢大学アスレチックトレーナー部(K A T T)の皆さんと合同でケア・サポート活動を行い、計56名のスタッフで約466名の選手にケアを施しました。

■筋痙攣への対応に事前研修会の成果

「弁当忘れても傘忘れるな」。昔から金沢に根付いている言葉ですが、石川県は都道府県別年間降水日数が日本で一番多いとされています。雨の金沢も風情がありますが、マラソン当日は台風22号の影響で開催を危ぶむ声が聞かれるほどの天候となり、約14,000人の選手の方々には雨と風の中を力走しました。

本会は25 k m地点、30 k m地点の救護所、フィニッシュ後の緑地公園内陸上競技場ゴール脇の雨天走路救護所、緑地公園内特設テントの4か所でケアを行いました。心配されたのは

約14,000人がスタートの瞬間を待つ。

沿道のあたたかい声援が何よりの励みです!

普段は車で渋滞する繁華街も人、人、人…。

スゴイ!
人の波!!



雨風を受けて走ってきた選手の低体温、筋痙攣です。各救護所には、車いすが必要となるほど筋痙攣を起こした選手が運ばれ、まず医師が判断し、指示を受けて処置を行っていきます。私たちのケア・サポートの中心となったゴール後の緑地公園内特設テントでは、機能回復を目的としたストレッチ、アイシング、必要によりテーピング等の処置を行いました。

さまざまな大会でケア・サポート活動の回数を重ねるたびに、その経験を技術向上の糧としてきましたが、昨年までの一番の課題として対応に苦しんだのは「筋痙攣の対応の仕方」でした。これについて一年をかけて協議し、研修会を開催してきた成果が、今大会の活動を通して実感できました。これからも総力をあげてサポートしたいと思っておりますので、選手の皆さん、来年もケアブースでお待ちしています。

救護所

25キロ & 30キロ地点

コース途中で救護所を設置し、レース中の選手にも対応。



風雨を切って走る選手たち、低体温と筋痙攣が心配された。

皆さん、お疲れ様でした!

466人の選手をケアしました!



ストレッチで緊張した筋肉をほぐす。

満床の状態が続くケアブース。



機能回復のためにテーピングを施す。

11ページに、自分で出来るテーピング法を掲載しました。興味のある方は、ぜひご覧ください!

特設テント

西部緑地公園

ゴール

西部緑地公園陸上競技場

野口みずきさんに迎えられてゴール!



ゴールした瞬間に倒れ込む選手も。

救護所

ゴール脇雨天走路

救護所でのケアは午後6時を過ぎるまで続いた。



医師の判断、指示を受けてスピーディに処置を進めるスタッフ。



医師、看護師などたくさんの方の協力で、無事、任務を終了!

石川県総合防災訓練

第58回を迎える石川県総合防災訓練が、延べ106もの関係機関を含む約18,000人が参加して9月3日(日)に行われました。

訓練は森本・富樫断層帯を震源とするマグニチュード7.2(震度6強)の地震が発生したとの想定で行われ、本会からは日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川(SS I)として13名の会員が参加しました。

もしもの時、本当に役立つ情報を提供

活動場所となった金沢市立千坂小学校では、朝早くから県職員、消防、自衛隊、学校関係者、校下関係者など大勢の人がテキパキと準備に動き廻っています。我々も指定された体育館に救護所を設置し、千坂校下一帯から避難してきた住民に対する救護、ケア活動の訓練を実施しました。応急処置の実演では、ごく普通にどこの家にもあるような雑誌、タオル、ラップなどを利用した関節の固定など、災害時に役立つ方



身近な家庭用品を使ってできる応急処置の方法を紹介。



いざという時は、スーパーの袋も三角巾の替わりになる!



子どもたちは興味津々! 順番に応急処置を体験していた。

法を紹介。救護所を訪れた小学生や地域住民の方々は、身近な物を使った手際の良い応急処置の方法に興味深げに見つめていました。また途中、視察に来られた谷本県知事には激励と労いの言葉をかけて頂きました。

ゲリラ豪雨など異常とも言える自然災害が日本だけでなく世界各地で起きているなか、今日の活動がとても有意義なものに感じた一日でした。



金田会員の説明を聞きながら実演の様子を熱心に視察する谷本知事。



第41回 厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会

北信越西部
無念の
二回戦敗退



平成29年10月8日(日)、東京講道館において第41回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会が開催され、石川県は富山県、福井県の会員とともに北信越西部チームを結成。厚生労働大臣旗を賭けて各地域の代表チームとの熱戦を繰り広げました。

本会会員4名が出場する北信越西部チームは、初戦大阪との試合に3 - 1で辛勝、続く二回戦は強豪近畿チームと対戦しましたが、1 - 4と健闘むなしく二回戦で敗れました。優勝を飾ったのは、昨年の大会で北信越西部が決勝で戦った南関東チームで、2年連続の優勝となりました。なお本県からは、丸田克幸会員が審判員として参加しました。

北信越西部チーム
代表選手の皆さん

監督	森田 満 (富山)
大将	北浦 健司 (石川)
副将	川口 稔 (福井)
中堅	城寶 忠信 (石川)
次鋒	田中 寿人 (石川)
先鋒	窪田 和樹 (石川)



北信越西部チームの皆さん。



優勝	南 関 東
準優勝	近 畿
3 位	東海東部
3 位	九 州

本会の丸田克幸会員が審判として活躍した(左)。

また、同日講道館にて日整全国少年柔道大会が開催されました。この大会には、5月に開催された本会主催の会旗争奪少年柔道大会で県内の強豪を制して優勝した鶴来坂田道場が出場。石川県代表として初戦に臨みましたが、東京に0 - 2で敗れました。



日整全国少年柔道大会に石川県代表として出場した鶴来坂田道場の皆さん。

初戦で敗れるも
堂々の戦いぶり!

※大会結果の詳細は日整HPをご覧ください。

公益社団法人 日本柔道整復師会
<http://www.shadan-nissei.or.jp/>



教えて先生!



ひとりで出来る簡単!テーピング

～ランニングの際のひざ関節安定編～

金沢マラソンの時、コース途中のケアブースでテーピングをしてもらったらひざが安定してすごく走りやすくなりました。自分で出来るといいなあ。簡単な方法があったら教えてください。

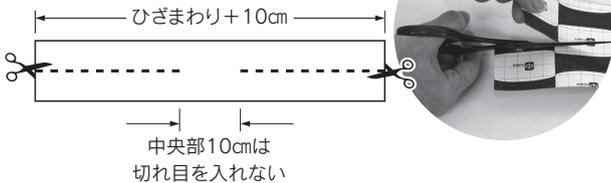


<用意する物>

- 収縮テーピング (幅7.5cm 長さ40cm～50cm)
- はさみ

<テーピングの仕方>

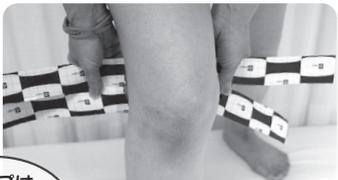
1 ひざまわり1周分+10cmを目安にテープを切り、テープの両端から中心に向かって切れ目を入れる(中央部分10cmは残しておく)。



2 テープ中央10cmの部分の紙を破ってはがす。



3 立った状態でテーピングをする方の足に軽く体重をかけ、少しひざ関節を曲げてひざ裏に紙をはがした部分を貼る。



4 ひざの外側からテーピング開始



まず上側のテープの紙をはがし、軽く引っ張りながらお皿の下を包み込むように貼る。



下側のテープの紙をはがし、軽く引っ張りながらお皿の下を包み込むように貼る。

5 ひざの内側も外側と同じように貼って完成!



テープを締め過ぎないように注意してください。



ひざ裏から見るとこうなります。

ワンポイント

テープの巻き終わり3cm程度は引っ張らずに巻くとかぶれにくくなります。ひざに腫れがある時などは、接骨院にご相談ください。



※テーピングの詳細い方法については、お近くの接骨院へお問い合わせください。

あなたの街の接骨院 公益社団法人石川県柔道整復師会会員の検索はこちらから⇒ <http://jyuusei-ishikawa.jp/>



支部だより

金沢北支部

金沢北支部家族親睦会 健康ランドでゆったり歓談

平成29年7月23日(日)、金沢北支部家族親睦会が健康ランド金沢ゆめのゆで行われました。時折雨が強く降る中、たくさんの会員・家族が集まって午後1時より開始され、和気あいあいと歓談しながら食事を楽しみました。



まずはお腹を満たしてから…。

さすがプロの芸、
迫力がありません。



午後2時から、テレビでおなじみの「太平まさひこものまねショー」が始まると一気に盛り上がる会場！ 普段テレビで観るのとは違って、間近に観る生トークとパフォーマンスは迫力があ、楽しいひと時を過ごしました。

金沢南支部

恒例の草刈り奉仕活動 チャレンジ・マイハートを実施

平成29年8月20日(日)、社会福祉法人石川サニーマイトにて金沢南支部恒例の「チャレンジ・マイハート」草刈り奉仕が行われました。

やや肌寒さを感じる朝6時、参加会員23名は軍手や鎌を持参で現地に集合。西川典孝支部



道具も持ち寄り準備万端。

長の挨拶のあと石川サニーマイト中村純子理事長からお言葉を頂き、草刈りを開始しました。

今年は雨が多かったせいか雑草の成長も目覚ましく、参加した会員たちは「望むところ」とばかりにやる気を見せていました。しかし敵もさ



滴る汗も気持ちいい。

この生命力、
分けてほしい？



るもの、どんなに刈っても引き抜いても、毎年青々と葉を茂らせて子孫を増やします。雑草を引き抜かれ棲み処を失った虫たちやミミズも同様、すぐに新たな場所に移り生活を始めます。よく「大自然の脅威」や「大自然の力」という言葉を耳にしますが、草刈りこそが自然の力を身近に感じ取れる行為だと思いました。

1時間程で作業は終了。身体を流れる汗も手や服に付いた土や草の匂いもすべて自然の恵み。ご褒美のアイスクリームをほおぼりながら、夏の終わりをゆっくりと味わう一日となりました。

子どもたちも
一所懸命お手伝い。

充実した朝のひと時を
過ごしました。



金沢南支部会員・家族親睦会 新戦力加入で支部行事に新風

平成29年7月23日(日)、金沢南支部会員・家族親睦会が、野々市市御経塚のキッチンカルロで行われました。支部委員に新戦力が3名加わり、新たな風が吹いたおかげで実現したこの企画。会場のセレクトもトレンドを意識してか、かなりオシャレです。ところが、あいにくの大雨。ひょっとして支部委員の中に雨男がいるのでは…?

こんな悪天候にもかかわらず46名の会員・家族が参加しました。西川典孝金沢南支部長の挨拶に続く、橋本大衛理事長の発声で乾杯。小さなお子さん連れの会員や立派に育った息子、娘、そして可愛い孫を従えて参加した会員もあり、まさに家族交流会。照れくささも手伝って

アルコールもすすみます！そして高級景品をかけての名前ビンゴで親睦会は最高潮に。最後は木山隆久会員の中締めで閉会しました。

公益社団の一員といえども、会員一人ひとりには個人事業主。このような親睦会で仲間感謝のつながりを意識することで築かれた関係は、本会にとっても大きな宝になります。これからもこのような親睦の機会を大切にしたいと思います。

豪華でお洒落な
景品に満足。



まさに家族交流会！

イタリアンカフェとこれまでにない会場セレクト。



Topics -トピックス-

トピックス①

シェイクアウトいしかわに参加 (県民一斉防災訓練)



地震発生を想定して安全行動をとる訓練。

平成29年7月10日(月)午前11時、県下一斉に行われた「シェイクアウトいしかわ」に、石川県柔道整復師協同組合の呼びかけで組合員が参加しました。シェイクアウトとは、大地震が発生したとの想定でその場で「安全行動」をとる訓練で、誰でもどこにいても参加が出来ます。日常生活の様々な場面の中で速やかに「しゃがむ」「隠れる」「じっとする」という安全行動をとることで、自分の身は自分で守るという「自助の力」を効果的に高めることができます。

ある組合員の接骨院では身を隠す場所が少ないことが改めて分かり、その時に備えてどのように行動すべきかをスタッフと確認し合いました。また協同組合では、情報メールを使用した安否確認訓練を同時に行い、115名の組合員から「無事」の返信を頂きました。なお7月7日(金)に発生した豪雨でも同様の安否確認を行い、組合員に被害が及ばなかったことを確認しています。



身を隠す場所が意外に少ないことがやってみてわかった！

トピックス②

登山同好会で 白山清掃登山を実施

10人全員、無事登頂！

開山1300年を迎えた白山の恵みに感謝し、会員と家族の親睦と融和を目的に平成29年8月11日の「山の日」に白山清掃登山を行いました。

朝6時、トングとゴミ袋を手に登山口の別当出合を出発、「砂防新道」の清掃活動を開始しました。途中の登山道や弥陀ヶ原は霧でしたが、一瞬の晴れ間に見える景色と可憐な高山植物に心を癒されました。残念ながら、御前峰(標高2,702m)頂上でも北アルプスは展望できず、全員登頂の記念撮影をして下山を開始。昨年同様、不用意に捨てられたゴミはほとんどなく、拾ったのは剥がれた靴底やタオルなどの落とし物で、登山者のマナーの良さを感じました。

今回は、登山初心者や小学生もいて体力面に若干の心配がありましたが、助け合いながら無事に下山が出来ました。帰宅前に白峰温泉総湯で汗と疲れを洗い流して健康であることの幸せを実感、参加した子どもたちも山のマナーを勉強出来た有意義な一日になりました。



トングとゴミ袋を手に登山。

一瞬の晴れ間に見える景色に癒されて。

トピックス③

卒後臨床研修 「医療人研修講座」に講師を派遣



平成29年9月17日(日)、新規柔道整復師免許取得者を対象とした卒後臨床研修「医療人研修講座」が開催されました。これは国民への安全な医療提供の実現を図るため、柔道整復師の資質向上を目的として公益財団法人柔道整復研修試験財団が行っているものです。

毎年全国で開催され、北信越ブロックの会場となった石川県地場産業振興センターでは、最終日の10月9日(祝)までの間に計4日実施され、本会から10名が講師として派遣されました。



9月17日はニツ谷副会長(上)と中村学術部長が講師の任に当たった。

新入会 紹介 員



よろしくお願ひします!

金沢南支部

平成29年8月28日入会

山本 健夫

(やまもと たけお)

生年月日 昭和51年5月21日
 出身校 北信越柔整専門学校
 住 所 金沢市窪6-245-1
 トレンディ伏見台102号
 接骨院名 恒心堂接骨院
 電 話 076-209-0878
 特技・趣味 サッカー・スノーボード・読書

加賀支部

平成29年11月17日入会

三井 守

(みつい まもる)

生年月日 昭和53年11月25日
 出身校 明治東洋医学院
 住 所 小松市須天町2-276-2
 接骨院名 三井接骨院
 電 話 0761-66-8058
 特技・趣味 ゴルフ・水泳

❖新シリーズ「教えて先生!」を掲載しました。スポーツや運動をしている方々がこの記事をご覧になり、参考にしてください。また詳しい方法などをお知りになりたい方は、記事の中にあるQRコードを読みとるか「石川県柔道整復師会」で検索して頂き、お近くにある本会会員の施術所にてお尋ねください。

❖マラソンのケアを今年も行い誌面に掲載していますが、毎年のごとく読みしなないで頂きたい。本会のスポーツにおけるケア・サポートは、全国的にみても数多くの大会をサポートしており、特筆すべきはその質の高さと真剣な取り組みです。行間にそれを表現することは難しいのですが、ケアに参加する会員は、各スポーツの特性や各選手のコンディションに合わせたケアを行うように努力しています。

(錦川)

❖年々、寒くなる時期が早まっているように思います。先日、天気予報で「冬將軍の到来です」と聞きました。毎年、耳にする言葉ですが、この冬將軍とは一体…? なんと、ナポレオンが関係していたようです。ナポレオン率いるフランス軍があまりに厳しい寒さにモスクワから撤退したことをイギリスの新聞が「General Frost(霜將軍)」と表現し、そこから「冬の厳しさ=冬將軍」となったようです。よく聞く言葉、使う言葉の意味を調べてみるのもおもしろいものです。

(川上)

❖金沢マラソンの取材にて。小雨の中、スタートゲートで声援を送る有名人の多くがカッパを着用する中、石川県出身の「田中美里」と「浜辺美波」の二人の女優さんは綺麗な服が濡れるのも構わず、カッパも着ずに笑顔で手を振っていました。「女優って、なんだかすげえ」と感動し、その前を見ると、背広姿の山野市長がやたらと元気に手を振っていました。「市長、はんばねえ」。

(中野)

❖娘から「レポートを書くのでインタビューをさせて」と言われました。自営業者の福利厚生について教えてほしいと。接骨業務に関しては全て一人で行っているので、自由に決めていると答えたのですが…福利厚生って何だ? 会社と一人親方の違いは? 飲みに行くこと、趣味の物を買うこと? そもそも一人親方に福利厚生なんてあるの? いろいろ考えましたが、誰か詳しいこと教えて!

(山本)

❖我が家にも有料ゴミ袋のサンプルが届きました。いよいよ来年2月から、金沢市でもゴミ有料化がスタートです。一緒に届いたマニュアルをつらつら眺めていると、結構自分の勘違いや間違いが見つかりました。ゴミの分別ルールも時々変化しているようです。年をとると一度覚えたことは忘れないのですが、変化していくことになかなか対応仕切れなくなっているように思います。負けずに頑張ろう。

(小松)

❖先日、ハブ源酒を炭酸で割ったハイボールを飲みました。その名もエナジーハイボール“琉球ハブボール”。13種類のハーブエキス配合で、沖縄名産シークワサー風味。さっぱりとした喉ごしに、100日以上水なしで生きることができるハブの生命力が手に入る逸品です。野生の力、ハブの神秘に触れてみたい方、一度ご賞味あれ。

(太田)

❖私の母87歳。身体は元気なのですが、財布が入った鞆や通帳を夜に隠し、朝、目が覚めると隠したことを忘れて「〇〇さんに取られた」と大騒ぎします。先日、鞆にセンサーを付けて携帯電話から操作するとブザーが鳴るようにしました。これで鞆はすぐに見つかるようになったのですが、今度は財布だけ隠すようになりました。(´▽`;)> お～、知能犯!

(きどう)

❖ピカッ!ゴロ、ズドドドーン! やってきました、冬の風物詩「雪起こし」。シベリアからの寒気と日本海の暖気が混じり合って積乱雲が出来、日本列島の山脈にぶつかり雪が降る、その時に鳴る雷のことです。鯨起こしも言います。鯨がたくさん獲れるのは嬉しいのですが、やっぱり雪雷は怖い。しかし、いくら鯨が大漁でも食べられるとは限らない…何故だろう?

(湯どうふ)

❖この10月の深夜、当院の看板が余りの強風に吹き飛ばされました。何年前かに屋根の峰瓦が全てズレて瓦が何枚も飛び修理、その翌年は玄関の編み戸が吹き飛んで網戸の角で車に長～い傷がついたり。さらに苗字が五十嵐とくれば、笑点なら座布団何枚取られるのやらの不出来具合。いつ何時何が起こるかかわからない。きちんと予測、管理などしてなお、油断大敵です。

(五十嵐)



公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp



撮影 金沢南支部 木山 隆久会員
使用カメラ:ニコンD 90
使用レンズ:AF-S NIKKOR 18mm-300mm
P:プログラムオート

[大聖寺 流し舟]

かつては、加賀百万石の支藩であり、十万石の城下町として栄えた大聖寺。ゆったりとした町の風情を四季折々の表情とともに、旧大聖寺川を流す船頭さん手漕ぎの屋形舟から楽しむことができます。

撮影した文化の日は穏やかな晴天、江沼神社の境内で落ち葉を燃す香り、色鮮やかな紅葉と秋を満喫し、川面から三代藩主前田利直が建てた長流亭(国の重要文化財)などを眺めながらひと時を過ごしました。